

議員全員協議会

日 時	令和4年6月23日(木) 開会中	8時54分 開会 10時07分 閉会
場 所	相良庁舎4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 植田博巳 副議長 15番 村田博英	
	1番 石山和生	2番 谷口恵世 3番 絹村智昭
	4番 名波和昌	5番 加藤 彰 6番 木村正利
	7番 松下定弘	8番 種茂和男 9番 濱崎一輝
	10番 原口康之	11番 大井俊彦 12番 太田佳晴
	13番 中野康子	14番 大石和央
欠席議員		
事務局	局長 原口 亨 次長 本杉裕之 書記 大塚康裕 書記 本杉周平	
説明員	市長、副市長、教育長、総務部長、企画政策部長、政策監、 産業経済部長、教育文化部長、秘書政策課長	
傍 聴		

署名 議長

開会の宣告

○議長（植田博巳君）

皆さん、おはようございます。梅雨に入りまして、また、この梅雨で豪雨にならないように願っております。

ちょっと時間が早いですけれども、皆さん、お集まりでございますので、ただいまから、議員全員協議会を開催いたしたいと思っております。

2 市長報告

○議長（植田博巳君）

まず最初に市長報告ということで、杉本市長、お願いします。

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

皆さん、おはようございます。

本日の全員協議会においては、三つの案件について、ご報告をさせていただきます。

まず、1点目であります。令和4年度の牧之原市の市民意識調査結果についてということでございます。資料1をご覧くださいと思います。

例年、実施をしております市民意識調査でございますが、4月28日から5月12日の期間で実施をいたしまして、総発送数1,398通に対しまして、有効回収数が749件でありました。回収率は53.6%となりました。

前回、令和3年度から、各年代の回答数が均等となるように、抽出の見直しを行って実施をしたところでございます。

傾向としては、これまでと同様、高い年代ほど回答率が高くなってはおりますが、各年代で想定していた回答数を得られたものと考えております。

今年度からインターネット回答を導入し、回答者の約3割がインターネットによる回答を行い、特に10代から40代では、約半数がインターネットによる回答でございました。若い世代ほど、このインターネット回答を利用いただき、導入の効果があったものと考えているところでございます。今後も利用増、回答の数の増加に向けた工夫をしまいたいと考えております。

ここでは、調査結果から一部を抜粋して、2点について説明をいたします。

次のページの「今お住まいの場所に今後も住みたいと思うか」についてであります。 「住みたい」は60.3%となりまして、例年と傾向は変わっていない状況であります。

「市内の他の場所へ移りたい」と「市外へ移りたい」が合わせて22.2%となりまして、(2)の、その理由は、例年と変わらず「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」「通勤や通

学など交通面が不便だから」「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が上位3項目となっております。

次のページの市の取組への満足度でございますが、この満足度の点数は、取組ごとにプラス2点からマイナス2点までの配点の、合計値を回答数で割りまして算出しているものでございまして、令和4年度と令和3年度を比較する表になっております。今年度は第3次総合計画を見据え、一部、項目の見直しを行ったため、昨年度と比較ができない項目があります。

青く色づけをされているのが満足度上位5項目でありまして、防災の45番「学校や地域で子どもを守る取組（軒先運動や青色パトロールなど）」、そして43番の「火災・救急などの消防体制への取組」、そして3番目が健康福祉の「幼稚園・保育園・認定こども園等の充実」、そして2番の「放課後児童クラブや学習支援教室などの取組」、そして51番目の市政経営の51番目、「市の情報や知りたい取組などについて、広報紙などによる情報発信」が評価されているところでございます。

緑色で色づけをされている項目は、昨年度から満足度が一番増加した項目でありまして、生活基盤の39番「公共交通の充実（バス、デマンド乗り合いタクシーなどの取組）」が、昨年度から0.25ポイント上昇しております。

黄色で色づけされている項目は昨年度から一番減少した項目でありまして、教育文化の13番目、「生涯学習など教養を高める機会の提供」が、昨年度から0.37ポイント減少しております。

こうした結果については、その要因ではありますが、この項目については理由を聞いてございません。そうした中で、その要因について、今後、確認あるいは分析を行いまして、今後の施策に生かしていきたいというふうに考えているところでございます。

そして、次のページ、5分の4、浜岡原子力発電所の今後についてであります。「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば稼働したほうがよい」が9.6%増加し36.4%となり、「浜岡原子力発電所は停止しておいたほうがよい」は5.7ポイント減少し32.0%となりました。

これまでの調査の中で初めて「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が「停止しておいたほうがよい」を上回り、逆転をいたしました。

次ページは、これを性別、年代別に集計したものであります。上が令和4年度、下が令和3年度であります。

どちらも、若い世代ほど「停止しておいたほうがよい」が少なく、また、各世代において「安全が確認できれば稼働したほうがよい」が昨年度より増加している傾向にありまして、年代間の差がこれまでより縮まったことも一つの特徴であります。

この結果につきましては様々な要因が考えられるわけではありますが、今回につきましては、ウクライナ情勢の影響による燃油の高騰に伴う電気料金の値上げや、電力供給の逼迫、節電要請への不安などが、逆転に至った要因の一つと考えております。

市といたしましては、引き続き、実効性のある広域避難計画の作成や、国道473号バイパス、150バイパスの避難路整備促進といった安全安心の確保を進めていきたいと考えております。

今年度の市民意識調査の集計結果につきまして、明日、午後の定例記者懇談会で公表を予定しております。同時にホームページへアップすることにしております。

議員の皆さんには昨年と同様にSide Books、タブレットに入れさせていただきますので、ご覧をいただきたいと思っております。

次に、資料2、中部電力株主総会提出議案に対する対応についてということであります。

6月28日、火曜日に、中部電力株式会社の第98期定時株主総会が開催されます。

牧之原市においては、中部電力の株1,193株を所有しており、株主総会の提出議案に対する対応について報告をいたします。

株式保有の経緯につきましては、昭和30年代に、当時、榛原地区の静波に営業所があったことなどから、そうしたつながりで保有したものと思われま。

資料のとおり、会社提案の1号から4号議案につきましては賛成として、株主提案の5号から9号議案につきましては反対ということで議決権を行使するものでございます。

株主提案の5号議案、そして7号から9号議案につきましては、会社の経営方針に係るものでありますので、会社の取締役会に一任ということで反対といたしました。

6号議案につきましては、会社の目的である電気事業から原子力発電を除くよう提案されたものでございますが、そもそも原発は国策事業であり、国が責任を持って方針を示して判断すべきことでもあります。また、この提案には地域の安全安心についての配慮がなされていないことから反対するものであります。

続いて、資料3をご覧いただきたいと思っております。中小企業者のデジタル化推進に関する連携協定についてであります。

昨日、6月22日、牧之原市商工会、牧之原市、そして島田掛川信用金庫の3者で、市内の中小企業者等のデジタル化推進を図るための連携協定を締結いたしました。

現在、市内の中小企業はデジタル化の必要性は感じていても、技術面や資金面、人材面などで、どのように進めていけばいいのか、また、どこから始めたらいいのかなどの課題があり、デジタル化が思うように進んでいない状況にあると伺っております。

今回の協定では、中小企業者等へのデジタル化推進に関する現状把握とともに、デジタル機器の導入や体制づくりの支援、デジタル技術の実装に向けた情報提供などについて、相互に連携、協力することを取り決めたものであります。

具体的には、7月から国が提供するデジタル化診断ツールを活用して、個々の中小業者によるデジタル化の課題整理をサポートし、診断結果を基に、市が実施している、まきのはらビジネスサポートデスクなどにつなげることで、事業者にあった補助金の活用や資金調達など、市内の中小企業者等のデジタル化を支援してまいります。

私からの報告は以上でございます。

○議長（植田博巳君）

以上、市長から報告がございました。

この件に関して、質問のある方は挙手でお願いいたします。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

今、中部電力の株主総会の提出議案に対する対応についてということで、このように回答ということでありましたけれども、ここに書かれているように、そもそも旧榛原町時代に、恐らく中部電力がこちらへ事務所を構えた当時の、恐らくお付き合いで1,000株所有をということだと思わうんですけれども、例えば、静岡市なんかは100万株単位で恐らく持っている。それはもう市として一つの考え方を持ってやっている中で、恐らく、それは当然、株主総会のこういう提出議案に対する賛否というのはちゃんと意思を持って報告するということなんですけれども、牧之原市の場合はそういう意味合いじゃないものですから、あえて、それに対して、こういう形で報告することの意味って何かなって、前から思っているんですけれども、市長はその辺については、どのように感じていますか。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

私も、この株を牧之原市が持っている、旧榛原町時代にこの株を取得しているという状況でありまして、その意味合いというのは、私も存じ上げていないとか承知していないわけですが、持っている一つのメリットとしては、こういった原子力行政といいますか原子力施策に関することに対する意見が、この株主総会に対して言えるというようなこともあるわけですが、今回、これまでもそうなんです、会社提案については、全てこれまで賛成しているというふうに思っておりますし、株主提案について、否決あるいは賛否を投じないというようなことで回答をしていると思うんですが、そうした意味での意思表示にはなるのかなというふうには思っています。

一つの事例で言いますと、富士山静岡空港の株も、本当に200株ですが持っております、県や地方自治体の中では牧之原市のみということで、一昨日も株主総会がございまして、私は出席できなかったんですが、毎年、たった200株でも、その株主総会にお呼びいただきまして、総会終了後には意見交換、懇談会の中で、様々な意見を述べさせていただく機会がございました。

そうした意味で、先日の株主総会においても、私はほかの公務で出席できなかったんですが、副市長に出席をいただいて、そして、本市の空港に対する様々な事業といいますか、そういった、特に修学旅行の助成事業、これをお話をさせていただいて、そうした中で非常に高い評価をいただいたというようなこともございますので。

空港株と中電の株とは全く違うものではありませんが、少ない株を持っている中で、一つのメリットとしては、意見が言えるところがあるというところがございますが、この件に関しては、全ての自治体が持っているわけではないということと、それから、持ち株も少ないものですから、そういった面では、今後、検討する余地はあるのかなというふうには思っております。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

分かりました。あえてここで私も、手放すとか購入すべきだとか、そういう話じゃなくて、どんな市長自身が思っているかなと思ったんですけれども、確かに、静岡空港の場合と全く意味合いというのは違うと思うんです。それはやっぱり意思を持ってちゃんと保有しているかどうかという違いが大きいと思いますので、また、デメリットがなければ、1,000株少々ですからいいと思うんですけれども、また、考えていただきたいと思います。

○議長（植田博巳君）

ほかにございませんか。

大石議員。

○14番（大石和央君）

同じですけれども、株主総会についてですけれども、この中電の株を保有しているということでもありますので、せっきく保有しているということであるので、意思表示としてということで、意義があるというふうに私は感じています。

そうした中で、株主からの提案ということで、8号、9号ですね、これに対して会社の取締役に一任という理由を述べていますけれども、一番に言えることは、牧之原市もゼロカーボンシティを目指すということで、本腰入れてやるんだぞということで、きているはずなんです。まずは、そうしたところで株主として、やはりその辺りのところを中電にも求めていくというのが、非常に重要かなというふうに思っておりますし、それから、その状況を明らかにしていくと、情報を公開していくということも必要になるんじゃないかというふうに思うんですが、その点、意見として出されていないというのが非常に残念だなというふうに思うんです。

やはり、牧之原市に限らず、やはり中電とも連携を取りながら、ゼロカーボンシティを目指していくというのは必要じゃないのかなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

今回の8号議案、9号議案等については再生エネルギーのことに触れておりますが、中身が、やはり我々がこれから取り組もうとしているゼロカーボンシティであるとかいうものとは差異があるというふうに思っておりますので、内容が我々との思いが違うということでありまして、再生エネルギーの関係につきましては、今年度、予算も取らせていただいているようなところではございますが、早生樹の取組等については、現在、中部電力ともお話をさせていただく中で、試験栽培については中電と市と連携をして取り組んでいくと。全くノウハウがない自治体のみでやるというのは、やはり問題がありますので、そうした意味で、今後、出口も踏まえたことということで、個別事業については、そういった形で連携させていただいておりますし、御前崎港に、

来年以降ですか、開設といいますかオープンするレノバのバイオマス発電所がありますけれども、その件に関しても様々な意見交換をさせていただいておりますので、こうした株主提案に対する賛否での意思表示だけではなくて、日頃からのそうした電力行政あるいは脱炭素の取組についても、意見を申させていただきますという状況でございますので、ご理解いただきたいと思います。

○議長（植田博巳君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

分かりましたけれども、やはり、機会があるごとにとということに関して言えば、これも一つの機会であります。そういったことも利用していくというか、必要かなというふうに思いますので、お聞きをいたしました。

終わります。

○議長（植田博巳君）

ほか、ありますか。

木村議員、どうぞ。

○6番（木村正利君）

3番目のところの中小企業等のデジタル化推進に連携協定イメージということなんですが、協定を結ぶことについては全然ご異議はございませんが、この中で、私も商工会のメンバーになっていたりしている中で、いろんな相談というのは商工会へ行ったりして、また、銀行ですと個人の小さいところが借入れとか、牧之原市は相談窓口だというんですが、協定の、今ここに市長のご説明の中で言っている、まきサポによる相談支援、それぞれやっていることを連携することによって、どこがメインでやっていくという、イメージがちょっと分からないものですから、もう少し、それぞれの情報共有で進んでいくときに、これから市民に対して説明すること、連携協定によって、牧之原市に相談を持ってきてくれれば、すって両方に流れるよということなのか、連携イメージが自分の中で、どこが主になるのということがちょっと分からないものですから、ちょっとご説明いただけますか。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

私のほうから、お答えさせていただいて、もし、不足な点があれば、担当部長から追加説明をさせます。

今回、牧之原市と島田掛川信用金庫、牧之原市商工会で連携協定を結ぶということに関しましては、一つには、牧之原市商工会には、商工会の会員が1,571社ということで、全国的に見てもこの人口規模でこれだけの会員がいるという商工会はないというふうに聞いていますし、日本でも一番多いのではないかというようなことであります。

そういった中で、商工会が持っている各それぞれの事業者のデータですね。あるいは商工会との関連でいろいろな相談を会員は商工会につなぐと。そこだと、ただつなぐだけですので、今度は資金面においては、今度、島田掛川信用金庫は、いろんな各種補助金の申請手続とか、これまでも持続化給付金とかいろんな連携をさせていただいていますけれども、商工会以外の方も入っていない方もいらっしゃいます。

一方で、島田掛川信用金庫以外の金融機関もございますので、今後、そういった、ほかの金融機関でもこういった連携を取りたいということであれば、随時、他の金融機関とも協定を結ぶことは考えておりますが、そうした中で、いろんな島田掛川信用金庫さんもいろんなニーズ、情報を持っているという中で、デジタル化の支援、あるいは資金面の、あるいは補助金等のいろんな情報を持っていますので、そういった支援ができる。

そこを牧之原市が全体のプラットフォームといいますか、両方をつなぐ、そして、いろんな、ここにありますように、DXの診断ツールの周知とか、牧之原市のサポートセンターというのは牧之原市が行っておりますので、そこを商工会と連携しながらやっていますので、そこをつなぐ。

それから、もう一つは、今回の中では大きな、昨年度から、おかえりプロジェクトというのを始めました。これも市がプラットフォームを立ち上げて、市内企業の情報を、このプラットフォームの中に情報を入れていきます。外からやはり人材の確保、市内の高校生、そして市外から出ている学生、そういった方たちに、市内の企業情報を取れる環境をつくる。そうした中で、そこは商工会も、そこに会員が登録をする。島田掛川信用金庫は低利の利子で、2%以下で修学資金を貸し付けると。

島田掛川信用金庫以外にも、静岡銀行とか、全て市内の金融機関に入らせていただいていますので、その産官学金労言というやっぱり連携ですね。ここがとても重要になるということでもありますので、牧之原市だけではなくて、産官金が連携をして行うことが、全体的なDXの推進に大きく貢献するだろうということで行わせていただいたものでございます。

○議長（植田博巳君）

木村議員。

○6番（木村正利君）

説明で大体、納得しました。市としてというのは、おかえりプロジェクトで、各中小企業が困っている人材のこと、また資金繰りのところに対しては、とにかく人が来ないことにはいけないという中で、今回の連携協定では、まきサポが主流になって、いろんな人材のところをサポートして、より強固なものにして、市内がよくなるという解釈でよろしいですか。

○市長（杉本基久雄君）

そのとおりです。

○6番（木村正利君）

ありがとうございます。

○議長（植田博巳君）

ほかはございませんか。

中野議員。

○13番（中野康子君）

6月定例会の同僚議員の一般質問の中で、物価高騰による地方創生臨時交付金を活用した給食費の値上げに対する負担軽減策について、伺いましたところ、数か月の状況では不透明であることから、補正予算の計上については見送りをいたしますという答弁がございました。

しかし、近隣の市町は同じような、やはり質問をしている中で、大変、前向きに取り込んで、引き続き、栄養バランスや量を確保した給食提供を続けるためとして、活用を検討するというようなのが島田市、藤枝市、それから焼津市のほうで、そのような答弁が出されております。

このことにつきまして、やはり、今、本当に物価高の高騰で、いろんな食材が大変値上がりしている中で、このままこのような形で行くのかどうなのかということ。

それから、オーガニック牧之原で、短期間で公募をした中で、結局は短期間の中ですから、公募するところがなくて、もともとあったところがなくなったということですが、予算を組み替えて計上しているんですけれども、この臨時交付金の使い方に対して、それでいいのかなというのがあります。

そんなことをちょっとお答えいただきたいなと思います。

○議長（植田博巳君）

部長。

○教育文化部長（内山卓也君）

議会答弁でお答えさせていただきましたけれども、こちら、相良地区につきましては、給食センター、食材費、賄材料費は6,000万円、年間の予算を組ませていただいています。

物価高というか食材費の高騰といいますか、サラダ油とか揚げ油等も含めて、そういったものは事実としてありますけれども、年間予算6,000万円の中で、質、量、栄養価、そういったものは下がらない中で今は提供させてもらっています。

今後の物価上昇の、6,000万円を幾らまで確保するかというのは、もう少し今後の物価上昇の状況を確認した上でやらせていただきたいということでご答弁させていただきました。そのところの何%上げていったらいいかというところを、今、見極めさせてもらっています。

吉牧の給食についても同様の考え方で、特に4月分については、今、相良分が260円の給食費をいただいていますけれども、260円以下の中で、物価上昇があっても260円以下の食材費でやれています。とはいえ、昨年度よりはかかっているということなので、もう少しその辺を含めて、どのぐらいの規模で補正を、交付金を使わせていただいて補正をさせていただくか、そこは見極めさせていただいているというところでございます。

予定としては、次のところで補正ができればというふうに思っています。

以上です。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

補足をさせていただきます。

決して、今、部長が説明したように、260円より下回っているということではありますが、結果としてですね。中身をとか落としているわけではありませぬので、そこはしっかりとした栄養といますか、カロリー計算をした上で、食材を落とさずに、そうした中でやれたということは、これは一つであります。

それから、ほかの自治体に関しまして、そこをとやかく言うつもりはありませんけれども、あくまでも予測なんですね、1割というような予測をして予算づけをしています。

先ほど、部長が言ったように、年間予算で6,000万円、食材費については予算があるわけですね。ですので、何でもこの6月で、いわゆる予測をした中でやるというよりも、さらにその精度を高めて、これからまだ上がるかもしれない、1割では足りないかもしれないということも含めて、少し3か月、4か月回す中で、最終的な物価高騰分をどこまで見込むか、落とさずにしっかりとした栄養価を与える中で、幾ら必要かというのを見極める。その分についての臨時交付金については、今回、満額活用しておりませぬので、余裕を持っているんですね。

これから、二次配分がございませぬので、それを充てれば、十分、財源的にはあるということありますので、決して無理をして、その予算内に収めろということではございませぬので、我々としては、しっかりとそこは対応していくということで考えていますので、ご理解をいただきたいと思います。

○議長（植田博巳君）

企画政策部長。

○企画政策部長（辻村浩之君）

オーガニックまきのはらの関係ですけれども、今回の配分については1億1,000万円余が物価高騰と燃料の上がった分ということで配分されましたけれども、それ以外に3,900万円くらいですけれども、通常の感染防止対策とか、それ以外のものということで配分をされています。

オーガニックまきのはらについては、そちらの3,900万円のほうの予算を使っていますけれども、これについては国のほうから、普通で言うと感染防止のイメージが浮かんでくるんですけれども、それ以外にも環境に対したものと、あと、これから事業を展開していく中で、世の中を進めるために必要な事業とか、国のほうで、事例を挙げてメニューを出してくれているのがありますので、そういうところに合致するんじゃないかということで当てはめています。

いろいろな事業が上がってきて、これ当たるかなどうかなというのは、県にも相談しながら実施計画のほうをつくっていますので、大丈夫だと思っております。

以上です。

○議長（植田博巳君）

あと、オーガニックのほう、いいですか。

中野議員。

○13番（中野康子君）

給食のほうは予算的に十分余力があるということで、子供たちの、とにかく栄養バランスというのを十分考えていただいていると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

オーガニックのほうは、やはり、オーガニックの牧之原のことを申し上げますと、皆さん、今、お茶が非常に今回も苦しい状況、そういった中で、そんなことやっているときじゃないんじゃないかという声があります。

それで、今回、物価高の高騰によるあれで燃料費がかなり上がっていて、皆さん、どこの工場も苦勞しておりますので、そういう中で、こういうのを使ったほうがいいんじゃないかという声もあります。

そんなことがありまして、予算の計上を組み替えてまで計上したので、そんな質問をさせていただきました。

○議長（植田博巳君）

企画政策部長。

○企画政策部長（辻村浩之君）

質問の趣旨は分かりました。

当然、お茶の関係も今回の中で、例えば、工場でもかなり燃料費を使うということで、そういうところをどうにかならないかということもありましたけれども、今回、県のほうでも、そういう制度をつくっておりますので、県のほうでお茶工場の関係もフォローしていただけるということで、今回、市ではちょっとそこまで出してはいなかったということでございます。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

今、部長が答弁させていただいたとおり、私もお茶に関して、何か支援をしなくちゃいけないのではないかとことでありましたが、非常に難しいのは、お茶の場合には、いい人もあれば悪い人もあると、これは常にそうなんです、そこをどういうふうに見極めるかということでありますが、そうした中で、セーフティーネットの、いわゆる事業者と個人負担、農業者負担の2分の1を県が補填するということで補正予算を上げましたので、ここは今回はそこがあったので、お願ひしよう。

さらに今後、いろんなことがあれば、そこはお茶に対する支援も考えていかななくてはならない。ですので、市がやれるとすると、個々にというよりも、販売促進であったり、これまでやってきたお茶の買取りをして、例えば、文京区に送るとか、という消費拡大策に使わせていただくとか、あるいは、いろんなイベントでお茶を直販する。そうしたご支援を、今まで以上に、そういった費用の負担、ブースの出展料を、例えば10割持つとかね。あるいは交通費を持つとかということで、出店しやすい環境、販売促進をしやすい環境、自販力をつける。そういったところにご支援

をさせていただくということが一つと。

それからもう一つ、オーガニックに関しては、これは、私が思っているのは、国内消費は落ちていますけれども、海外においては日本の生産量と同等の約8万トンが毎年消費が増えているということで、これからやはりアメリカとかヨーロッパとか、輸出を進めていくためには、一定の登録された農薬以外を使わないようにするとか、新たな登録も必要になると思います。そうした中で、いわゆる海外の基準に合わせる。そのためにはこういった取組もスタートしていかないといかんだろうと。

それからもう一つは、今、契約栽培が増えています。そういった中で、伊藤園さんとは300ヘクタール、契約が進んでいるんですね。

そういったものの中で、これから恐らく農薬基準も厳しくなってくると思うんですね。ですので、完全オーガニックにはいかないまでも、どこまで、そこをオーガニックを目指していく中で、農薬や化学肥料をどれだけ落としていけるか、こうした取組は茶業界全体としても、私は必要だというふうに思っていますので、そういった中で、生産家の皆さんにも今回の事業に、できるだけ加わっていただいて、皆さんでできることをやるということが重要だと思うので、そんな形で、まず、取組の第一歩としてスタートさせていただきたいと思っております。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

よく分かっております。オーガニックを決して否定するものではありません。むしろ、海外に向けては、本当に、非常に大切なことだというふうに思っています。

ただ、今、この一番茶のこの現状で、かなり茶農家が離れる可能性はあるのかなというふうに思っています。原油高ばかりだけでなく、肥料代、そういうものもかなり上がっています。そういう中で非常に苦しんでおりますので、そういう意味も込めまして、質問させていただいた次第です。

ありがとうございました。

○議長（植田博巳君）

そのほか。

大石議員。

○14番（大石和央君）

1点、お願いしたいんですけれども、道の駅さかべですけれども、4月の初め頃、議会で説明があって、この基本構想については市民に公表されていますので、それらを見た市民から、現状はどうなんだ、どこまで進んでいるのかというような意見なんかをもらっているんですけれども、現状と進捗というか、その辺りのところを説明、お願いします。

○議長（植田博巳君）

産業経済部長。

○産業経済部長（田形正典君）

道の駅さかべにつきましては、現在、基本計画をつくるということで、地元の区の皆さんとの意見交換ということで、一度、ワークショップをさせていただきました。

その中では、皆さんから、道の駅にはどんな機能が欲しいか、どんなものが欲しいかということで、一度、意見を出させていただいて、これを今集約しているところでございます。

もう一度、今月末に、それを集約したものを絞り込みまして、地元としてどのようなものがほしいかというものを挙げていただきます。これを基にして、基本計画をつくっていくという中であります。

それで、基本計画、それは地域振興の部分もありますので、これについては、また、地域振興の部分の計画も策定していくという段取りでおります。

○議長（植田博巳君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

この基本計画、これは、いつまでというような。

○議長（植田博巳君）

産業経済部長。

○産業経済部長（田形正典君）

今年度末までには、まとめていきたいというふうに思っております。

○議長（植田博巳君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

今年度末ということで、それから、ちょっとスケジュール的なところは見えていないものですか、準備というか、そこら辺にちょっと出してみたいという人がいて、どうなのかという話があつて。

今年度末につくって、それから、実質これが供用開始ということになるのは、いつになるんでしょうかね。

○議長（植田博巳君）

産業経済部長。

○産業経済部長（田形正典君）

今年度に道の駅の基本計画、それから地域振興施設の基本計画をつくりまして、来年度に実施設計に入っていきたいということで考えておまして、実施設計の中には、あらかじめ指定管理の部分の公募者の選定をしていきまして、今年度にまとまった地元から吸い上げた意見を入れた基本計画を反映させて実施計画に入れていくということで、地元の皆さん、地域とか市の皆さんの意見が入ったものを実施計画にのせていくという段取りでおります。

令和6年度の工事ですので、令和7年度の供用開始ということになります。予定は当初を予定

して進めたいと思います。

○議長（植田博巳君）

ほかには。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

一昨日から、市民トークが始まったようではすけれども、案内をもらったんですけれども、私、萩間地区って今回はなくて、あれと思ったら、一番下に相良、萩間地区については開催をしないとの申入れありということで、行政側の責任じゃないんですけれども、この経過が少し分かったらお願いしたいなと思うんですけれども。

○議長（植田博巳君）

秘書政策課長。

○秘書政策課長（竹内英人君）

自治行政連絡会の席で、各区長さんがいらっしゃるところで、地区単位で開催をとということで、お願いといいますか日程調整、また開催の可否など、ご判断いただきたいということで、お願いをさせていただいています。

そうしたところ、希望のある地区については連絡をいただきまして、会場であるとか日程であるとか、そういったところを詰めていくということでやっているんですけれども、相良地区、それから萩間地区からは開催を見送るといいますか、コロナの関係が理由のようではすけれども、そういった申入れがあるという、そういう状況です。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

地区からの申入れなので、それは仕方がないと思うんですけれども、本来、これ、市民トークって地区の役員の皆さんに来てもらうようになっていて、その地区全体、牧之原市民にということなので、恐らく萩間地区でも相良地区でも聞いてみたいなという市民は、たくさんいると思うんです。そういう人たちに対するフォローというのはどのように考えていますか。

○議長（植田博巳君）

秘書政策課長。

○秘書政策課長（竹内英人君）

おっしゃるとおりで、何らかの形で開催できればというふうには考えているんですが、その開催方法として。

○市長（杉本基久雄君）

じゃなくて、行きたい人は、ほかの地区へ行けばいいんじゃないかな。

それはできないの。

○秘書政策課長（竹内英人君）

一応、不特定の方を集めるということについて、少しはばかれるという、そういうところもありまして、地区でということをお願いをしているというのが、今の現状です。

それで、おっしゃるように、その地区の中でも、地区の判断とすれば開催しないということなんですが、聞きたいという方がいらっしゃると思います。何らかの形で開催できればなと思ってはいるんですが、それを、やはりフリーでやるのはどうかということで、少し、今、どういった対応がいただろうかということは考えてはいるという、今はそういう状況です。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

すみません、いろいろ、ご迷惑をかけちゃっているようですけれども。

それで、例えば、私もやっぱりどこかで聞いてみたいと思うんですけれども、私も萩間地区の人間なので、不特定のほかの地区へ行くというふうに考えると、我々もほかの地区へは行けないということではないんですかね。

○議長（植田博巳君）

秘書政策課長。

○秘書政策課長（竹内英人君）

それも、職員は事前にご質問いただいたりするものですから、その関係する部長とか課長はもちろんなんですが、職員、課長以上は参加するよということになっておりますが、不特定多数ではなくて、分かっている人と言ったらおかしいですけれども、なので、少しそういった地区をまたいで参加するということは、させていただいているという、そういう状況ですけれども。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

分かりました。また議長も相良地区だし、相談しながら対応したいと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

一つ、補足させていただきますけれども、私、今年度は確かに地域の皆さん、コロナの関係で悩むと思うんですよね。でも、ここまで鎮静化している状況からすると、私としては、ぜひやっていただきたいなという思いなんです。

それと、もう一つは、第3次総合計画という一つの大きな節目にきているので、ぜひ、その話だけでも聞いていただくような、時間短縮をして、一度、萩間地区と相良地区に関しては、市民トークという形じゃないけれども、例えば、第3次総合計画について、お話を聞きたいとかいうことでやっていただければ、あるいは、私どものほうからいかがですかというのも、投げかけも

あろうかと思うんですが、私としては、そういう形で追加でやらせていただいてもいいと思いませんし、これまでも、市民トークが、2年、ほとんどなかったんですが、一部の区では、やってくれないかということで、規模を縮小してね。例えば、川崎地区だと静波、川崎なんですけれども、川崎区だけで来てくださいと、やってくださいというような要請はあって、お受けしたケースもありますので、そこについて我々は、市民トークという形はこういう形ですけど、各地区からの、自治会からの、もっと規模を縮小した形の要請であるということならば、例えば、東萩間だけで神寄で公民館に来てとか、あるいは相良・福岡の相良区で来てとかいうのであれば、それは一つの自治会からの要請ということで、時間調整さえできれば、私としては、やらせていただければありがたいなと思っています。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

私も地区民として、残念なものですから質問させてもらったんですけども、また、そんなことでよろしくをお願いします。

○議長（植田博巳君）

ほかはよろしいですね。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

それでは、これで市長報告は終了いたします。どうもお疲れさまでした。

3 議長・関係議員・委員会報告 （1） 会議等の結果

○議長（植田博巳君）

それでは次に、議長・関係議員・委員会報告を行います。

まず最初に、会議等の結果報告でございます。

初めに、私のほうから報告させていただきます。

5月17日、牧之原市商工会第15回通常総会がい〜らでございました。来賓として出席いたしました。内容的には、令和3年度の事業報告・決算、令和4年度の事業計画・予算が審議されておりました。全て可決されております。

次に、5月18日、牧之原市御前崎市広域施設組合の臨時会がございました。2議案が上程されました。令和4年度2月1日、一般職の職員に関する法律が閣議決定されたことに伴いました広域施設組合の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例と監査委員の選任が行われまして、監査委員は御前崎市の渥美昌裕議員が選任されました。

次に、5月20日、議員研修会、ファシリテーションの研修、皆様、お疲れさまでした。大変、参考になったと思います。

同日、牧之原市国際交流協会の総会に来賓として出席いたしました。内容は、令和3年度の事

業報告・会計報告、令和4年度の事業計画・予算というような内容で執り行われておりました。

次に、5月23日、浜岡原子力発電所安全等対策協議会理事会総会が行われ、令和3年度の事業報告・決算認定、令和4年度の事業報告・予算承認ということで、全て可決をされました。

次に、5月25日の全国市議会議長会第98回定期総会に出席いたしました。場所は東京国際フォーラムで行われ、表彰式と各委員会報告、議案審議部会提出議案27件、会長提出議案5件、それから令和4年度歳入歳出が提案されまして、全て可決されました。

次に5月27日が全国民間空港所在都市議会協議会第101回定期総会が都市センターホテルで行われまして、会長は伊丹市の議長、41都市が参加をいたしました。令和4年度の協議会の事業計画、そして、歳入歳出が提案されまして、可決されました。

次に、5月31日、御前崎港振興会総会、これは書面会議でございます。

それから、御前崎港整備促進期成同盟会総会、これも書面会議でございましたけれども、内容的には役員人事、令和3年度の事業報告・決算、令和4年度の事業計画・予算の5議案が提出され、異議なしで提出させてもらいました。

同日です。静岡県地方議会議長連絡協議会の定期総会及び第1回政策研修会がございました。これはグランヒルズ静岡でございます。副議長と行ってまいりました。理事会の後、総会が行われ、政策研究会に出席させていただいて、令和3年度の決算総会が書面決議でありましたので、予算的には使わなかったということで、令和4年度歳入歳出が475万1,000円で可決されました。

次に、6月3日、まきのはら活性化センター社員総会、これも来賓として出席してまいりました。

6月10日ですけれども、牧之原市スポーツ協会総会・交流会に来賓として参加させていただきました。

6月11日が新しい学校づくりシンポジウム。学校再編の説明とパネルディスカッション、シンポジウム、千葉工大の倉斗准教授が「多様な学びを叶える学校づくり」をテーマに講演が行われました。議員の皆さん、参加お疲れさまでした。

次に、6月15日ですけれども、第23回静岡県市町対抗駅伝競走大会第1回実行委員会が開かれました。昨年は市の部が最下位に終わったということで、前回大会を教訓にしまして、チーム力の底上げをしていくということで、これから小中のほうで競技会を開催していくということで、お話がございました。それから監督は交代されまして、箱根駅伝で走った市の情報交流課長の大石佳伸さんが監督に就任されました。

6月17日、国への要望活動に、市長と共に同行して行ってまいりました。農林水産省の水産庁、国土交通省の水管理・国土保全局、港湾局に井林議員、牧野議員と共に伺いをして、農林水産副大臣、それから国交副大臣にお会いいたしまして、多くの市民の財産を守るための防潮堤、地頭方港湾の防潮堤等の促進を実情、現状の状況を踏まえて説明させていただきました。

それから、その後ですけれども、東武トップツアーズに出向きまして、企業版ふるさと納税の用途をこういうことでやりましたということと、さらなるふるさと納税の支援要望をさせていた

できました。

以上でございます。

副議長。

○15番（村田博英君）

5月24日、榛原総合病院の監査がございました。一般会計、それから病院事業会計、各種諸書類を監査いたしましたところ、問題なく処理されておりましたので報告いたします。

それから、6月21日ですが、吉田町牧之原市広域施設組合臨時会が招集されました。2議案ございまして、一つは今の焼却場の外壁工事、補修工事の議案と、それから給食センターの配車が古くなって、その買換えということです。その2議案とも可決されました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ほかの方は、よろしいですか。

大井議員。

○11番（大井俊彦君）

5月27日ですけれども、東海地区の都市監査委員会の定期総会、これは書面開催ということになりました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

これで会議等の結果については終了いたします。

3 議長・関係議員・委員会報告 （2） 議会運営委員会

○議長（植田博巳君）

次に、議会運営委員会からお願いいたします。

大石議員。

○14番（大石和央君）

議会運営委員会です。

まず、5月17日、5月25日は6月定例会の追加提出議案と及び6月定例会の日程の確認ということで行いました。これは既に済んでおりますけれども、5月25日の中で、特別委員会の設置についてということで協議をいたしましたが、結論が出ませんでしたので、持ち越しというふうになりました。

そして、意見書の取扱いについてということで、沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情というのが出されましたけれども、郵送であったので、資料配布とするということです。

そして、5月31日ですけれども、特別委員会の設置について再び協議をしまして、設置するという結論になりました。

6月10日ですけれども、6月定例会の、これも追加提出議案ということでの説明を受けました。それから日程ということで、これも済んでおりますので、割愛をしまして、そして、次のウというところで、静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の実施についてということですが、これにつきましては、その他のところで事務局から説明があります。

次に、友好都市、三戸町の表敬訪問があります。研修をしたいということで、テーマにつきまして、タブレットの活用ということで、三戸町議会のほうから要望がありましたので、このときの説明員として、濱崎議員にお願いするということで決めました。

そして、今後、7月26日と27日の三戸町の対応につきまして、研修があったり懇親会があったり、翌27日の午前中という対応もありますが、詳細につきましては、次の7月の議運に諮って皆さんにご報告をいたします。

次に、意見書の取扱いということで、これは郵送で来ておりましたので、これも合わせて資料配布ということにしました。

そして、その他ということですが、第16回東遠議員交流フォーラムの開催中止についてということですが、その他のところで副議長のほうから報告をお願いしたいというふうに思っております。

以上で終わります。

3 議長・関係議員・委員会報告 (3) 総務建設委員会

○議長（植田博巳君）

次に、総務建設委員会、お願いいたします。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

総務建設委員会ですけれども、5月17日に所管事務調査に基づく市民会議について、商工会とまきのはら活性化センターと行うということは決まっていたんですけれども、その確認をいたしました。

まきのはら活性化センターとは6月7日、この時点では商工会との日程調整はまだできていませんでした。その辺の確認をいたしました。

それと5月19日、新しい国の制度になってまいります、みどりの食料システム戦略に関する勉強会ということで、総務建設委員会として開催して、文教厚生委員会の皆様にも出席いただき、関東農政局の静岡拠点から、秋山参事官に来ていただき、講義を行いました。文教の皆さんには、ありがとうございました。

それで、6月7日に活性化センター、6月21日に商工会との市民会議を行いました。活性化センターではセンター長をはじめ、事務局4名参加していただきました。また、商工会では、正副会長、全員出ていただき、各部会の部会長、理事の皆さんですけれども7名、合計10名の皆さんが出席して開催をいたしました。

活性化センターとの意見交換会においては、持続可能なまちづくりについてがテーマなんですけれども、細かいテーマとして海岸を活用した通年型の観光戦略について、もう1点は、ふるさと納税を活用した地域産業の活性化について、これを事前にセンターのほうに通告しまして、それぞれ各担当議員を決めまして、問題提起をそれぞれして、その後、意見交換を行いました。

それと、21日の商工会との意見交換会ですけれども、同じくテーマを六つ提案させていただきました。一つ目は海岸を活用した通年型の観光戦略について、二つ目は食文化の新たな創造と継承について、三つ目は増加し続ける市内空き店舗の活用について、4番目として女性起業家の育成と支援について、5番目として中小企業向け工業団地の造成について、6番目としてスマート農業への取組についてということで、短い時間ではありましたが、意見交換をいたしまして、いろいろな具体的な提案等をいただいたものですから、これを基に27日、今月ですけれども、振り返りを行い、政策提言に結びつけていきたいと、そんなふう考えております。

それと、8月1日から3日まで、委員会の視察が決定しております。行き先は、静岡空港を使いまして、福岡空港へ飛び、帰りは鹿児島から静岡空港へ戻るという行程になりますけれども、鹿児島、宮崎、この二つの県を拠点に視察を行います。

鹿児島ではグリーンファームということで、体験型観光農園ですか、この辺の勉強をして、宮崎では青島ビーチパーク、これは新しいスタイルの海水浴場ということで、集客も伸ばしているということで、我々が取り組んでいる牧之原市の海水浴場、年々誘客が減っておりますけれども、通年型の海水浴場、観光地を目指していくということで、勉強してきたいと思っております。

もう一つは、宮崎で綾町での有機農業の里づくりということで、地域活性化に取り組んでいると、この辺の視察を行いたいと思っております。

以上、総務委員会の報告とさせていただきます。

3 議長・関係議員・委員会報告 (4) 文教厚生委員会

○議長（植田博巳君）

次に文教厚生委員会、お願いいたします。

中野議員。

○13番（中野康子君）

文教厚生委員会から報告させていただきます。

5月25日に行政視察につきまして話合いを持ちました。栃木県、千葉県、そして、今はまだ1か所が、視察委員の皆さんで検討していただいております。二泊三日で計画をいたしております。

6月1日、行政視察についてと市民会議について、検討をいたしました。市民会議におきましては、榛原学園の子育てにつきまして、みらいえさん、それから、長寿介護のほうでフレイル、高齢者の予防につきまして、市民会議を行わせていただく予定になっています。

6月15日、行政視察についてと、市民会議の実施について、当局との勉強会について、これを検討いたしました。

それから、6月20日に付託議案審査がありまして、これは本会議のほうで行わせていただきます。

そして、6月27日の午後は、榛原学園さんと市民会議を予定しております。

7月1日は、所管事務調査について勉強会を予定をいたしております。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 (5) 議会広報特別委員会

○議長（植田博巳君）

次に、議会広報特別委員会、お願いします。

原口議員。

○10番（原口康之君）

議会広報特別委員会です。

6月10日、牧之原市議会だより「かけはし」第67号について、第1回の委員会を持ちました。内容については、編集スケジュールについて、ページ割について、話し合いをしました。

各議員への原稿依頼が出されておりますので、各提出期限がありますので、その辺、よろしくお願いいたします。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 (6) 議会改革特別委員会

○議長（植田博巳君）

次に、議会改革特別委員会、お願いします。

村田副議長。

○15番（村田博英君）

5月17日に会議を行いました。チームに分かれて、初めて協議を行いました。

Aチームは、議会報告会の改善に向けてについて、協議を行いました。

Bチームは、同じく、開かれた議会について、モニター制度等の検討を行っております。

全協のあった日に、その終了後にやっておりますが、こういうやり方でしばらく続けていきたいと思っております。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 (7) 第3次牧之原市総合計画に関する特別委員会

○議長（植田博巳君）

第3次牧之原市総合計画に関する特別委員会ということでお願いします。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

本日、第3次牧之原市総合計画に関する特別委員会を開催させていただきます。第1回となりますけれども、ご案内のように、今後の会議の進め方ということで、皆さんと確認をして、それで、短い期間ですけれども進めていきたいと、そんなふうに考えております。

お願いします。

○議長（植田博巳君）

以上でございます。

4 協議事項

○議長（植田博巳君）

次に、協議事項はございますでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

5 その他 （1） 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の実施について

○議長（植田博巳君）

ないようでしたら、次のその他に入ります。

最初に、静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の実施についてということで、これは事務局のほうから説明願います。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

資料の3をお開きください。

静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員において生じた欠員7名の補欠選挙につきまして、2ページのように告示がありました。

その中で、市議会議員区分におきまして、欠員が3名に対して候補者が4名出ましたので、6月定例会の最終日6月27日、月曜日の定例会のときの日程第1として選挙を行いたいと思います。

それで、こちらの資料3のほうのページをめくっていただいまして、最後のページになります。こちらが立候補しました4名の候補者氏名表になります。当日、また、こちらのほうをお配りして投票用紙もお配りして投票していただく形になりますので、よろしく申し上げます。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

5 その他 （2） 第16回東遠議員交流フォーラムの開催中止について

○議長（植田博巳君）

次に、第16回東遠議員交流フォーラムの開催中止についてを副議長から。

副議長。

○15番（村田博英君）

前日も報告いたしました。東遠議員交流フォーラム、開催中止ということになりましたので、改めてご報告いたします。

当番市でございましたので、これで3回目の中止になります。コロナが一番主たるあれなんです。全員が集まると、4市の議員を集めてやりますと、総人員84名になりまして、牧之原市では、今現在84名の懇親会をやるどころがございませんので、改めてちょっと問題だなというふうに思いますが。

次は、スタートの掛川市になります。この東遠フォーラムは、ぜひ交流としては続けていきたいと、皆さん、各市の代表の皆さん、そうおっしゃっていただいております。次回は掛川市が幹事役を進めるということになりました。

以上でございます。

○議長（植田博巳君）

以上で、今日の協議会の協議事項は全て終了いたしました。

それでは、これで全員協議会を閉会としたいと思います。お疲れさまでした。

〔午前 10時07分 閉会〕